

令和5年9月

## 北西大西洋漁業機関（<sup>ナ</sup><sup>フ</sup><sup>ォ</sup>NAFO）「年次会合」の結果について

### 1 北西大西洋漁業機関

北西大西洋における底魚等の資源管理を行う国際機関。  
メンバーは、日本、カナダ、EU、米国等13ヶ国・地域。

### 2 日時・場所

9月18日（月）から22日（金）まで、ビーゴ（スペイン）で開催  
（対面及びウェブ形式の併催）。

### 3 我が国出席者

野村農林水産省顧問（我が国代表）ほか、森下農林水産省顧問、  
水産庁、国立研究開発法人水産研究・教育機構及び業界関係者が対面  
で参加。

### 4 結果

#### (1) 令和6年（2024年）の資源管理措置

令和6年（2024年）の我が国の割当量は昨年と同量となった。

（カラスガレイ：1,151トン（昨年同）  
アカウオ：550トン（昨年同））

#### (2) 3M海区のエビ資源に関する割当基準

従来の操業可能日数ではなく、総漁獲可能量を各国に配分する数量  
管理への移行を目指し、その割当基準の議論を行ったが、引き続き議  
論することとなった。

#### (3) 次回会合

令和6年（2024年）9月にカナダで開催予定。

[参考] 我が国主要魚種の漁獲割当（トン）

魚種	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
カラスガレイ	1,253	1,255	1,286	1,253	1,205	1,151
アカウオ	550	550	550	550	550	550